不二サッシ

不二サッシグループ

CSR報告書 2019

会社概要

商　　号	不二サッシ株式会社 (FUJI SASH CO.,LTD.)
本社所在地	神奈川県川崎市幸区鹿島田1丁目1番2号 新川崎三井ビルディング
創　　業	1930（昭和5）年7月7日
設　　立	1969（昭和44）年5月1日
資 本 金	1,709,609,300円
従業員数	850名（連結 3,002名、2019年3月31日現在）

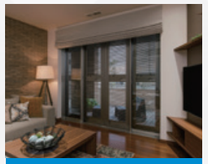
事業内容

ビル建材事業

専門メーカーとして長年培った高度なテクノロジーとノウハウを駆使し、高い性能や品質と多様なデザインの要求に応えるビル用サッシ・カーテンウォールをご提案します。

フロントサッシ事業

オフィス、マンションのエントランスから店舗、ショールームなどの大開口部のファサードまでお客様のニーズに最大限にお応えする豊富なフロント商品を取り揃えています。



住宅建材事業

リフォーム市場も視野に入れたエコアマドやエコ面格子といったエコシリーズ商品の充実を図り、お客様のニーズに応えています。

リニューアル事業

ストック化が進むマンションやオフィスビルを中心とした様々な建築物にリノベーション工事を施すことにより、快適な居住空間の提供や資産価値の向上をお手伝いします。

ユニットハウス・防災関連事業

多目的な展開が図れるユニットハウスや防災備蓄倉庫、高性能機器収納箱（シェルター）まで、多様な用途にお応えするパッケージ商品を多彩なラインナップで揃えています。

光建材事業

独自設計のLEDモジュールを使った商品の開発を進めています。アルミ素材とLEDの融合により様々な商品の可能性を広げていきます。

環境エンジニアリング事業

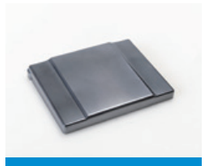
都市ゴミ焼却施設の飛灰処理設備、リサイクル・粗大ゴミ処理施設のプラントエンジニアリングから薬剤の製造・販売まで都市ゴミのトータル処理システムを提供しています。

海外事業

フィリピン、ベトナム、台湾など東南アジアを中心に不二サッシブランド商品の展開や現地企業とのアライアンスを積極的に推進しています。

アルミ形材・アルミ加工品事業

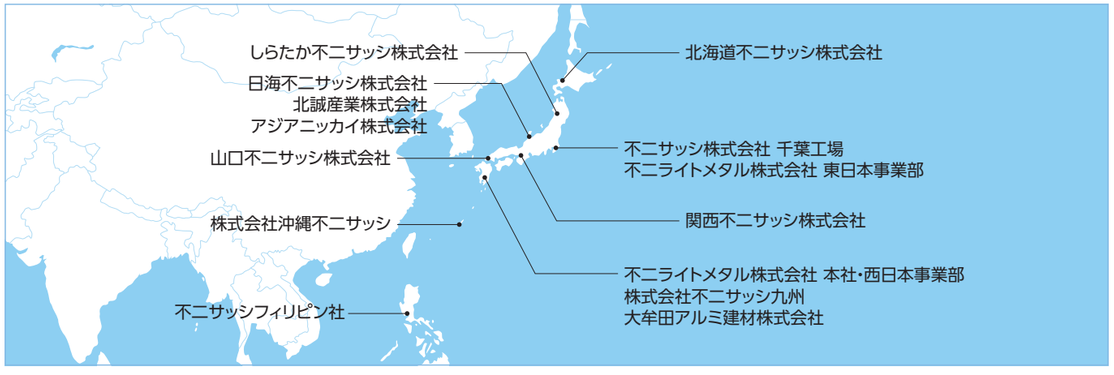
一貫生産システムで、建材から半導体製造装置、自動車関連、家電製品、事務機、日用品の部品まで軽金属のサプライヤーとして多様な商品を提供しています。



マグネシウム合金事業

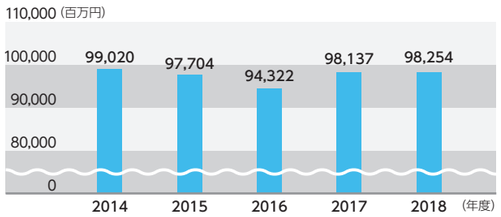
実用金属中最も軽量なマグネシウム合金の押出加工技術の研究・開発に取り組んでいます。高強度・高耐熱マグネシウム合金はあらゆる分野での事業展開が期待されています。

不二サッシグループ生産拠点

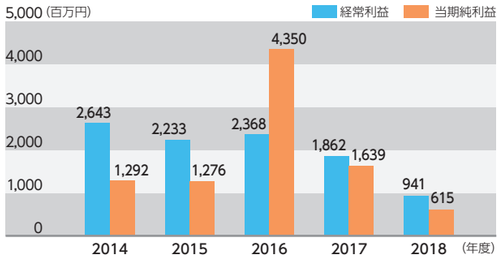


データ

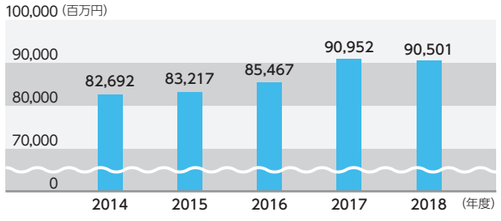
売上高



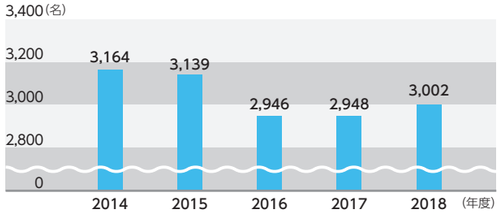
経常利益／当期純利益



総資産



従業員数



目　次

会社概要	2
目次／編集方針	3
トップメッセージ	4
不二サッシグループの成長戦略	6
不二サッシグループのあゆみ	8
不二サッシグループの製品・サービス	10
特集「100年企業」を見据えた取り組み	12
E 環境 地球環境のために	
環境マネジメント	16
地球温暖化防止	17
環境負荷の低減	18
環境会計・マテリアルフロー	19
S 社会 お客様サポート	
製品品質・安全への取り組み	20
TOPICS	21
社会とともに	
不二サッシの活動	22
グループ会社の活動	22
従業員とともに	
TOPICS	24
人権の尊重	25
人材育成	26
ワークライフバランス	27
労働安全衛生	27
G ガバナンス マネジメント	
コーポレート・ガバナンス	28
コミュニケーション	
ステークホルダーとのコミュニケーション	30
第三者意見	31

編集方針

本報告書は、「環境省ガイドライン」を参考に不二サッシグループの事業内容および 環境分野を含めたCSR（社会的責任）に対する基本的な考え方やその活動をステークホルダーの皆様へより広くご理解いただくことを目的として、毎年ホームページ上に公開しています。
今年度の報告内容については、従来の方針を踏襲し見やすく読みやすい紙面となるように努めるとともに、SDGsへの賛同に基づく活動を開始するにあたり広くご意見をいただくために第三者意見を掲載しています。

WEB マークの項目は当社ホームページ上で詳細情報をご覧いただけます。

● 対象範囲

不二サッシ（株）および関連会社
特定の範囲を示す場合は本文にその旨を表記しています。

● 対象期間

2018年 4月 1日～ 2019年 3月 31日
※ 一部対象期間以外の情報も含みます。

トップメッセージ

不二サッシグループは、1930年の設立以来、
お客様との絆を大切にし、心を込めた商品を提供してきました。
今年は創業89年を数え、2020年には創業90周年を迎えます。
そして、その先の100年企業に向けて、「選ばれる企業」として存在感を発揮するために、
変革へ挑戦し、企業価値を高め、持続的成長を実現してまいります。

変革への挑戦、選ばれる企業へ

不二サッシグループは、創業以来80年以上にわたるものづくりの歴史のなかで培った技術力で、時代の変化とともに多様化するニーズに対応し、革新的な挑戦を重ねてきました。

お客様のご要望にお応えするためには、人と人との接点が最も重要であり、お客様との絆を大切にすることが、技術力・対応力の向上と質の高いサービスの提供に繋がると考えています。

「窓から夢をひろげていきます」という経営理念のもと、行動規範である「お客様との絆を大切にします」、「心をこめた商品を世に出します」、「活力あふれる気風づくりに努めます」を全社員が実践することで、お客様に最適な形での価値の提供に努めています。

2020年に迎える創業90周年、その先の100年企業を見据え、変革への挑戦を続け、すべてのステークホルダーの皆様から「選ばれる企業」として持続的成長を実現していきます。

中期経営計画の進捗

中期経営計画2年目となる2018年度は、主力事業である建材事業においては、新たに環境対応商品を市場へ投入、また営業・設計・生産・施工までの一気通貫したプロセス管理を強化しました。形材外販事業は、非建材商品の拡販に向けた提案営業を強化し、売上拡大に努めました。

注力事業であるリニューアル事業は、M&Aにより地域戦略強化を図るとともに、事業領域の拡大に向け、防水・塗装工事を主体とする会社とのアライアンスを推進しました。環境事業は、今後の需要増に備えて体制強化および業務効率化を継続しております。

成長事業であるLED事業は、事業部名を「光建材事業部」に変え、建材と照明を融合させた新たなビジネスモデルを展開しています。海外事業は、ベトナム・フィリピンを中心に事業展開し、着実に実績を積み上げています。マグネシウム事業は、医療用マグネシウムにおいて不二ライトメタルが連携協定を締結している日本医療機器技研が日本医療研究開発機構（AMED）の委託研究開発に採択されたことにより、事業化に向けた研究開発を加速させています。

これからも、不二サッシグループは企業価値向上に努め、社会からの要請に応えられる企業文化を築き上げ、未来に向かって前進していきます。

100年企業への取り組み

LED事業から光建材事業へ

LED事業は、新構造の面発光LEDプレートを活用した新規事業としてスタートしました。2013年に発売開始した「アルビームシステム」は、世の中の建築化照明の拡がりとともに受注拡大してきました。昨今のLEDの性能・機能の進化を踏まえた照明メーカーとの協業により、商品バリエーションが格段に増え、当初目的の「独自開発LED製品の製造・販売」から「光建材商品の企画・開発・販売」に事業内容が変化、拡大してきました。今後は外装だけでなく、インテリア市場、リノベーション市場への展開も予定しています。

建材と照明の融合である「光建材」は、夜景観や空間デザインにおいて無限の可能性を秘めており、これからも新たな顧客の創造を実現していきます。

マグネシウム事業について

難燃性マグネシウムにおいては、不二ライトメタルが参画企業と共同で実施しているNEDO事業において、新幹線車両と同一断面サイズのモックアップ構体試作に成功しました。この構体は難燃性マグネシウム合金による世界最大級の大型構造部材であり、マグネシウム合金製高速鉄道車両構体の実用化に向けた大きな一歩となります。

医療用マグネシウムにおいては、不二ライトメタルが包括的連携協定を結んでいる日本医療機器技研が、冠動脈ステント開発について日本医療研究開発機構（AMED）に採択され、不二ライトメタルにおいても、素材作製から加工までの一貫製造・供給設備を導入し研究開発を推進しています。

SDGs達成に向けて

SDGsの趣旨は、持続可能で多様性と包摂性のある社会実現のために、2030年を期限とする17の国際目標です。この目標の中には、不二サッシグループが既に行動目標として取り組んでいる地球温暖化対策、循環型社会の形成、人権の尊重などの課題も含まれ、事業活動においても環境事業をはじめSDGsの目標に添う事業が存在しています。

不二サッシグループはこのSDGsの趣旨に賛同し、現状のESG課題の解決を含め、事業を継続することでSDGs達成に貢献していきます。期限である2030年は、当社創立100周年にあたり、目標達成に向けて取り組みを強化していきます。

グループガバナンス強化

不二サッシグループは、「責任ある経営体制の確立と経営の透明性向上、監督機能の強化に努め、ガバナンス体制を強固にする」ことを中期経営計画の企業体質強化策の一つとして掲げています。

昨今、日本企業で発生した不祥事には、子会社による事例も少なくなく、グループ全体のガバナンス強化の重要性を改めて認識させられます。

昨年度より、北海道住宅サービス、高槻ダイカスト、日本防水工業など、事業領域拡大のため、グループ傘下に迎えてきました。また、海外事業においても、ベトナム、フィリピン、台湾を拠点とする建材事業拡大を目指しています。このような状況において、中長期的に企業価値向上を目指すためには、グループガバナンスの強化が一層重要視されます。

不二サッシグループは、お客様に信頼され、社会に貢献し続けるという基本方針を実現するため、責任ある経営体制の確立と、経営の透明性向上ならびに経営に対する監視・監督機能の強化に努め、ガバナンス体制を強固にしていきます。

代表取締役社長　吉田 勉

不二サッシグループの成長戦略

変革への挑戦、 選ばれる企業へ

不二サッシ株式会社は2020年に90周年を迎えます。
これからの厳しい市場環境を再認識し、4ヵ年の中期経営計画「創造」を策定いたしました。
第三次「創造」(2017年度～ 2020年度)ではコア事業の継続的な収益安定化と注力事業の強化および成長事業での事業基盤構築に取り組み、お客様に最適な形で価値を提供するエンジニアリング企業を目指していきます。
長期的な施策では収益性や成長性の低い事業から、より収益や成長が期待できる事業へ資源を集中する戦略(事業ポートフォリオ戦略)を推進し、グループ経営資源の最適配分によって収益基盤の更なる強化と多角的な収益事業の育成を目指します。

中期経営計画の概要

グループ事業ビジョン

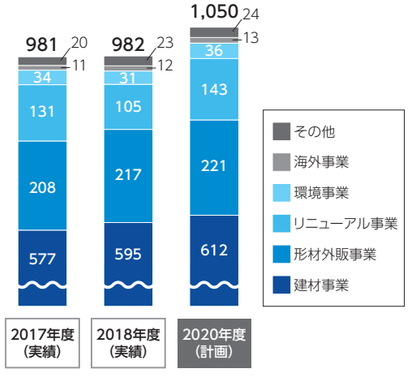
売上高1,000億円と
利益率アップの早期実現

コア事業で安定的な収益確保と
リニューアル＆環境事業の基盤強化

海外事業での収益拡大

次代を担う人材の育成

セグメント別売上高 (億円)

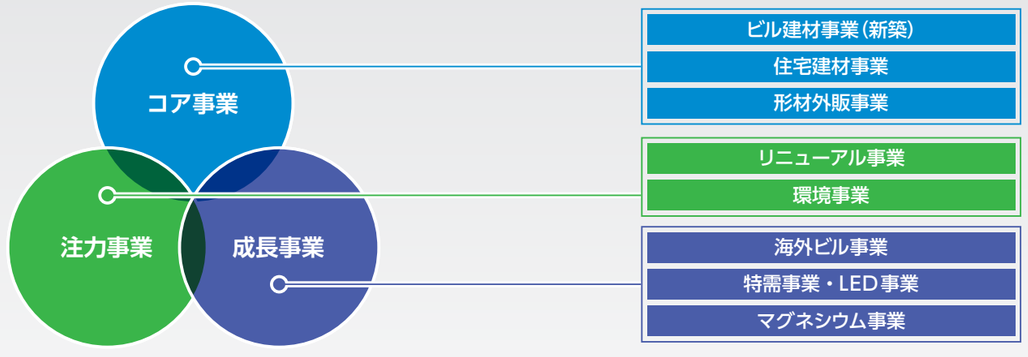


第三次中期経営計画 「創造」

基 本 方 針

コア事業の収益安定化、注力事業の強化、成長事業の基盤構築によって、「目指す企業像」を実現。

ポートフォリオ戦略を推進し、グループ経営の最適配分によって、収益基盤の強化と多角的な収益事業の育成を目指す。



		売上高	営業利益	営業利益率	純資産	自己資本比率	配当性向	D/Eレシオ
数値目標	2018年度(実績)	982億円	8億円	0.8%	197億円	21.6%	30.7%	1.1%
	2020年度(計画)	1,050億円 以上	16億円 以上	1.5% 以上	210億円 以上	22.5% 以上	15.0% 以上	1.1% 以下

バックアップ戦略

文化シヤッターとの協業
- 売上拡大
- 商品開発
- コストダウン
- 海外市場

企業体質強化
- 人財戦略
- ガバナンス体制強化
- 事業ポートフォリオ戦略

SDGsの期限である2030年は、当社創立100周年にあたり、目標達成に向けて取り組みを強化していきます。

SDGsへの貢献

事業別戦略

コア事業
- ビル建材事業(新築)のシェアアップと収益力向上
- 住宅建材事業の売上拡大
- アルミ形材・加工品の販路拡大

注力事業
- リニューアル事業の売上拡大
- 環境事業の業容拡大

成長事業
- 海外事業の再構築
- 特需事業・LED事業の推進
- マグネシウム事業の推進
- 新規事業

不二サッシグループのあゆみ

私たちは1930年の創業以来、サッシの製造事業を通じてビルや住宅における快適な居住環境を追求してきました。特に1958年に国内で初めて製造販売を開始したアルミサッシ分野では、一貫生産のアルミサッシ・カーテンウォールのパイオニアとして国内外のビッグプロジェクトに参加し、都市景観の創造に寄与してきました。

そして今、80年以上の歴史の中で培った技術力と提案力を軸とした最先端の研究開発力、安定した生産・供給力を基盤に、アルミサッシ・カーテンウォールの基幹事業をはじめ、リニューアル事業からアルミ形材・加工品事業、環境エンジニアリング事業、海外事業、さらには新素材開発まで、未来を見据えて新たな事業を積極的に展開し、グローバルエンジニアリング企業を目指しています。

今年度の報告書では、光建材・環境・特需の3つの事業のあゆみに注目しました。

光建材事業

デスクライト「アルエア」シリーズやアルミ建材に光の演出を加えた「アルビームシステム」などを展開してきた光建材事業は、現在では異業種企業間で様々な機能やノウハウを融合させる取り組みに発展し、複合的な領域をワンストップで提案するサービスを実現しています。

1930 鋼製建具の製造を目的に株式会社不二サツシ製作所設立
(旧 不二サツシ工業(株))

1957 米国フェントロン社と技術提携しアルミサッシの技術を導入

1965 千葉県市原市に千葉工場完成

1968 大阪府高槻市に大阪工場完成

1969 ●東洋ハウジング(株)設立(旧 不二サツシ(株))
●九州不二サッシ(株)設立

1981
不二サツシ工業(株)、不二サツシ販売(株)、
不二サッシ(株)(旧 東洋ハウジング(株))
3社合併により、不二サッシ(株)として新発足

1990
経営理念「窓から夢を」制定

1992
●経営理念を主題とする
シンボルマークを制定
●東京証券取引所市場第二部に株式上場

1994
不二サッシフィリピン社設立

1997
●千葉カーテンウォール試験センター稼動
●ISO9001認証取得

2001 ●全国22販売会社を全国6広域販売会社に再編
●ISO14001認証取得

2004 九州不二サッシ(株)を完全子会社化

2006 (株)不二サッシ九州を承継会社とし
「九州地域製販一体新会社」を発足

2007 九州不二サッシ(株)を承継会社とする
資材統合新会社を発足
これに伴い社名を不二ライトメタル(株)に改める

2009 文化シヤッター(株)と
「資本および業務提携に関する基本合意書」
を締結

2012
面発光体LEDを採用したデスクライト「アルエア」発売

2013
● アルミ建材とLEDを組み合わせた
「アルビームシステム」発売
● LED商品アルエアシリーズ「タイプⅡコンポジットモデル」
2013年度グッドデザイン賞受賞

2014
● LED商品アルエアシリーズ「タイプⅢアルエア-グラン」
2014年度グッドデザイン賞受賞

2015
● 「アルビームシステム」
● アルミペンダントライト「i-v(アイ・ヴィ)」
2015年度グッドデザイン賞受賞

2015 不二ライトメタル(株)
マグネシウム合金を使った医療機器開発を始動

2016 台湾に合弁会社「不二太天股份有限公司」を設立

2017 不二サッシベトナム社設立

2018
アジアニッカイ(株)、
北海道住宅サービス(株)、
高槻ダイカスト(株)
新たに不二サッシグループに

2019
日本防水工業(株)、
日本スプレー工業(株)
新たに不二サッシグループに

アルビームカーテンウォール

2016
● 「アルビーム・エルドロウ」
● 「アルビーム・自動ドア」
● 「ブラケットライト」
2016年度グッドデザイン賞受賞

2017
フィグラ(株)、(株)遠藤照明との
異業種コラボレーションによる
これまでにない建築ファサードの提案

2018
「アルビームカーテンウォール
トランザムタイプ」
2018年度グッドデザイン賞受賞

2019
光建材「ALBEAM Plus」
を発表

環境事業

1975年より、アルミの製造過程で発生する水酸化アルミを有効利用(再利用)した早期硬化セメント「アルサイト」を開発し、いち早く環境問題に着目。さらには「アルサイト」を使用した下水汚泥固化プラントの開発、販売を経て、現在都市ごみ焼却施設の飛灰処理プラント、リサイクル粗大ごみ処理プラントの設計・製造・販売を全国展開しています。(飛灰処理プラントは全国のごみ焼却施設約1,100件中400件以上納入)

また、「地域の環境保全」「公害防止」「資源の有効利用」「地球環境への負荷低減」「CO_2削減」等の社会貢献を常に目指しています。

1975
サッシの表面処理工場で発生する
アルミスラッジを有効利用した
ヘドロ汚泥の固化材「アルサイト」を開発、営業開始

1980 下水汚泥の混練技術を基に
都市ごみ焼却施設の飛灰処理プラントを
開発商品化

1992 日本曹達(株)と技術提携し
キレート剤を開発、営業開始

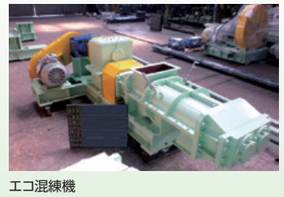
1993 リサイクル、粗大ごみ処理設備
本格受注開始

「フライネットR」循環イメージ

1999
(株)荏原製作所と提携し、
ダイオキシン類低温加熱分解装置の
製造・販売開始

2007 (株)レヂテックスと提携した
粉塵防止剤「フライネットR」が
NETIS:新技術情報提供システム(国土交通省)取得

2010 省エネ型エコ混練機の商品化



エコ混練機

2015 米国SSI社と粗大ごみ処理設備等で
使用する二軸破砕機の共同開発契約を締結

2016 二軸破砕機の販売を開始

二軸破砕機

特需事業

1975年に発売した「アムコ」から始まり、多目的な展開が図れる「ユニスペース」などのユニットハウスに加え、万一の際に備えて防災用品を保管する防災・備蓄倉庫や、高性能機器収納箱(シェルター)まで、多様な用途にお応えするパッケージ商品を多彩なラインナップでそろえています。

2015年には新たに開発した折り畳み式ユニットハウスの接合部で業界初の技術評定を取得し、一般建築物としての使用が可能となりました。

1975 ユニットハウス「アムコ」発売

1987 ユニットハウス「アムコⅡ」発売

アムコⅡ

フジストッカー

1990
防災・備蓄倉庫「フジストッカー」発売

2004
ユニットハウス「ユニスペース」発売

ユニスペース

2009
防災備蓄倉庫・災害救助倉庫
「Stock&Toilet」発売

Stock&Toilet

2015
折り畳み式ユニットハウスの接合部で
業界初の技術評定を取得

構造認証ハウス

不二サッシグループの製品・サービス

グループのコア事業

ビル建材事業

1 カーテンウォール

カーテンウォールにおける省エネ技術として、エコロジーをキーワードに、標準的なカーテンウォールとオプション部材の組み合わせによる多彩なラインナップを用意しています。

フロントサッシ事業

2 フロントサッシ

オフィス、マンションのエントランスから店舗、ショールームなどの大開口部のファサードまで、お客様のニーズに最大限にお応えする豊富なフロント商品を取り揃えています。

防災・災害対策

フロントサッシ事業

3 フロントサッシ

自動ドア部にポリ塩化ビニル製の止水シートを標準装備。止水シートが水圧でサッシ・ガラスに密着し、土のうの約10倍の止水性能を発揮します。

アルミ形材・アルミ加工品事業

4 クロススクリーン

用途は医療用を主としていますが、災害時等、様々な用途で使用できるマルチタイプです。

ユニットハウス・防災関連事業

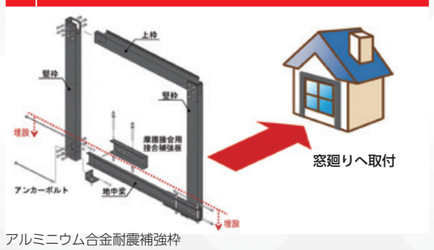
5 ユニットハウス

災害救護多機能倉庫（Stock&Toilet）

オフィス、現場事務所、仮店舗、収納庫など多様なニーズに対して、豊富なオプション類で柔軟に対応します。防災倉庫にはソーラーシステムユニットが加わり、備蓄品の長期保存だけでなく、災害時の拠点としての有効利用も可能になりました。

不二サッシリニューアル（株）

6 耐震補強枠

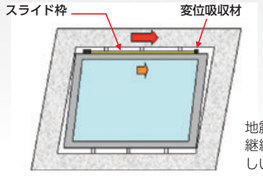


アルミニウム合金耐震補強枠

窓周りや壁面に補強枠を取り付けるだけで、建物の耐震性能を向上させます。

ビル建材事業

7 免震式サッシ枠

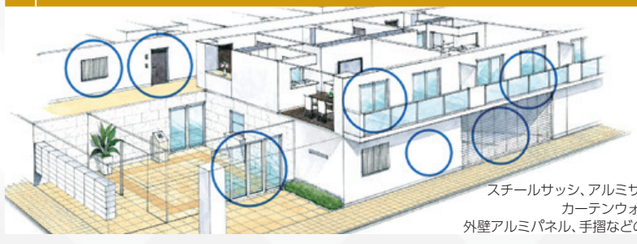


地震後にも重大な補修も無く継続してご使用いただける新しい免震式サッシです。

地域貢献

不二サッシリニューアル（株）

8 リノベーション工事



スチールサッシ、アルミサッシ、カーテンウォール、外壁アルミパネル、手摺などの取替

ビル建材事業

9 ゴミ集積ボックス

ゴミの散乱を防ぎ、収集所を清潔に保ちます。清掃やゴミ袋の出し入れも簡単で、通りの景観も損ないません。

環境エンジニアリング事業

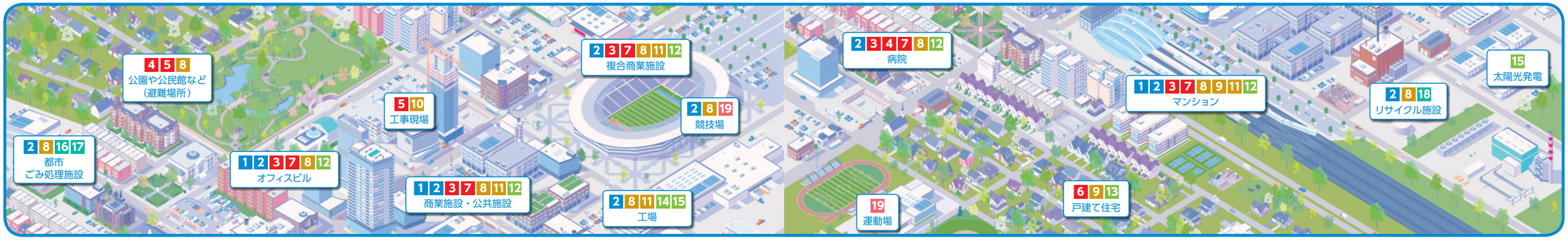
10 粉塵防止剤

主原料に植物由来の有機性資源であるバイオマスを使用しています。

アルミ形材・アルミ加工品事業

11 サイクルラック

「自転車が詰まっていて出し入れしにくい」「大切な自転車を壊したくない」そんな悩みや要望を、フィットスライドが解決します。



省エネ貢献

ビル建材事業

12 次世代型ハイグレードサッシ

高層マンションで求められる、より高い耐風圧性能、水密性能をクリアし、さらに断熱性能、遮音性能を発揮するハイスペックな商品です。

住宅建材事業

13 住宅サッシ

「エコシリーズ」
- エコアマド（写真）
- エコ引違い雨戸
- エコ折り雨戸
- エコ面格子

「セフティルーバーWINDOW」

特定得意先向け高断熱サッシ

LED事業

14 水銀灯型LEDランプ

工場・高天井に最適。水銀灯も省エネ・長寿命のLEDに。

アルミ形材・アルミ加工品事業

15 ソーラー架台

JIS C 8955の基準に沿った設計で、要求される強度を満たしつつ、軽量化・施工性を考慮した形状になっています。

環境貢献

環境エンジニアリング事業

16 ダイオキシン類低温加熱分解装置

17 飛灰処理施設

混錬成形機

18 リサイクル処理設備

粗大ごみや不燃ごみ、ペットボトル、廃プラスチック等それぞれのごみに合わせた処理システムの設計・施工およびエンジニアリング全般をお引き受けします。

障がい者支援

マグネシウム合金事業

19 競技用車いす

熊本出身の選手と連携して開発した「made in Kumamoto」のマシンです。

特集

「100年企業」を見据えた取り組み

不二サッシグループは2020年に創立90周年を迎えます。
2017年度から2020年度までの中期経営計画「創造」の基本方針は、
創業90周年へ向けてその先の100年企業を見据え、企業価値を高め、存在感を発揮し、
選ばれる企業を目指すための礎を築くことです。

「100年企業」を見据えて

異業種3社による融合が新たな価値を具現化
建材や照明器具を超えた共同開発品

ALBEAM Plus

不二サッシ株式会社は、アルミ建材の総合メーカーとして建築事業に携わる一方で、アルミ素材とLEDの融合による商品の可能性を追求し、2018年6月には遠藤照明・フィグラ・不二サッシ3社のコラボレーションにより、建材と照明を融合させる商品シリーズ「アルビームシステム」の新バリエーション「トランザムタイプ」を発表しました。さらに2019年3月には、東京ビッグサイトで開催された「ライティング・フェア2019」において、光建材「ALBEAM Plus(アルビームプラス)」3シリーズを正式発表しました。建築ファサードからインテリアまで、設備設計要素や意匠性の提案をワンストップで実施しています。

建築ファサードに3種類の光の演出を可能にする
ALBEAM Curtain Wall （トランザムタイプ）

左）特殊ガラスと高出力LEDを搭載したカーテンウォール外観
右）無目部材にLEDユニットを内臓し、特殊レンズを搭載

ビル建築に多用されるカーテンウォールの横桟無目部材にLEDユニットを内蔵しました。独自設計レンズによって光の照射方向をコントロールし、建築ファサードに3種類の光の演出が可能です。光源を屋内側に置くことでメンテナンス性も考慮し、レンズは室内天井照射・サッシ照射・ガラス照射の3タイプを用意、建築デザインから都市景観デザインまで、建築ファサードに新たな演出を実現します。

美しく・薄く・シャープ、僅か35mm厚の間接照明建材
INDIRECT LIGHTING

アルミボディの建材型照明です。通常、間接照明造作には150～200mmの厚みが必要ですが、精度の高いアルミ形状により厚さ35mmと圧倒的な薄さを実現。連結可能なシステムは光を途切れさせません。組み合せも自由自在で、ベース照明・間接照明・ペンダント照明など多彩なアレンジも可能です。美しく、薄く、シャープな印象の間接照明空間をつくります。

人の目線に配慮し、歩く人を優しく誘導する手すり
HANDRAIL

「ALBEAM Plus－HANDRAILシリーズ」は、墜落防止手すり・歩行補助手すり壁付タイプ・歩行補助手すり独立タイプの3種類の手すりと、中角配光・広角配光・横長配光(スプレッド配光)の3種類の光の広がりを用意。マンションの共用部や様々な公共空間などで夜間の足元の明るさを確保します。照明ユニットは工場で組み込まれた状態で納品されるため、現場での施工も容易です。

「100年企業」を見据えて

マグネシウム合金製の医療機器部材で日本の医療に貢献

(株)日本医療機器技研が「医療研究開発革新基盤創成事業」に採択

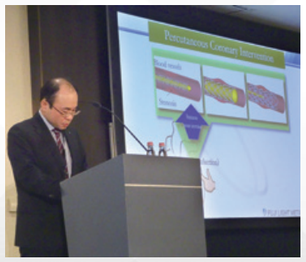
不二ライトメタルは2018年6月、マグネシウム合金製医療機器部材の素材製作から加工まで一貫して製造する設備を自社内に導入し、9月に熊本県より医療機器製造業の認可を受けました。これらの設備を活用し、医療機器に適用する材料(生体吸収性マグネシウム合金)を開発しています。11月には医療機器開発において包括的連携協定を結び、生体吸収性マグネシウム合金を提供している（株）日本医療機器技研が、国立研究開発法人日本医療研究開発機構の「医療研究開発革新基盤創成事業(CiCLE)」に採択されました。不二ライトメタルは今後も事業化に向けた研究開発を加速させ、マグネシウム合金をベースとした医療機器部材を日本医療機器技研をはじめ、研究機関、医療機器開発メーカーへ提供し、日本の医療に貢献していきます。

生体吸収性マグネシウム

ステントや固定医療機器において、治療後に体内から摘出する必要がなく、身体への負担や医療費の軽減が期待されています。

IMA（国際マグネシウム協会）の優秀賞受賞

不二ライトメタルは、International Magnesium Association(国際マグネシウム協会)が選定する2019年度Award of Excellence(優秀賞)を受賞し、5月17日にハンガリー・ブダペストで開催された年次総会で表彰されました。本賞では 、世界中のマグネシウム業界各社の活動に関して、「革新的な技術の提案と実績」を評価する自動車鋳造製品、一般鋳造製品、展伸材製品、製造工程の4部門と、「環境への貢献」を評価する環境部門の計5件が表彰されます。今回、世界各国からの応募に対し、日本で唯一当社が展伸材製品部門の優秀賞を受賞しました。



提案テーマ
Development of magnesium alloy tube and development of bioabsorbable scaffold for coronary

マグネシウム合金管材及び
冠状動脈用生体吸収性スキャフォールドの開発

動脈の狭窄や閉塞によって引き起こされる虚血性心疾患は、心筋への血液の供給を妨げる重篤な疾患であり、日本人の死因の第二位に挙げられている心疾患の大部分を占めています。この疾患の治療として、近年では、冠動脈ステント*を用いた低侵襲性の治療法が広く普及しています。マグネシウム合金を使った生体吸収性スキャフォールドは、治癒過程を経て体内で吸収分解されるため、術後の有害事象を回避するのに効果的であり、抗血小板薬服用期間の短縮、再治療における選択肢の拡大に寄与すると期待されます。当社は、共同開発先の（株）日本医療機器技研とともに、マグネシウム合金を使った生体吸収性スキャフォールドの早期実用化を推進していきます。

＊ **冠動脈ステント**　狭窄・閉塞した冠動脈に対して管腔内部から拡張・支持する網目状金属からなる医療機器。治癒後に生体吸収され、人体に溶けて消失する「生体吸収型の冠動脈ステント」=「生体吸収性スキャフォールド」。

「100年企業」を見据えて

第12回キッズデザイン賞を受賞

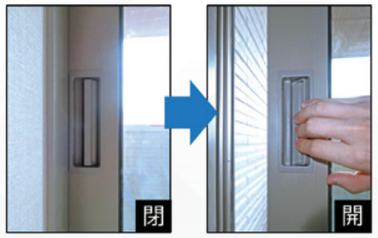
～子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

窓用引手「イーズ引手」

近年、窓は省エネの観点から高断熱・高気密化、防犯対策、さらには眺望の魅力から窓サイズも大きく、かつ、重さも増加しており、力の弱い子どもでは開閉しにくい傾向にあります。窓用引戸「イーズ引手」は、コンパクトなデザインでありながら、指がかかりやすい形状でテコの原理を利用した機能を取り入れることで、子どもでも安全でスムーズな開閉が可能になりました。この「イーズ引手」が積水ハウス（株）のスライディング商品に採用されるとともに、2018年 9月、「第12回キッズデザイン賞」を受賞しました。

不二サッシはこれからも子どもたちの創造性と未来を拓く、心をこめた商品を開発していきます。

キッズデザイン賞
「子どもたちが安全に暮らす」「子どもたちが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」という目的を満たす、商品・空間・サービス・活動・研究の中から優れた作品を選び、顕彰する制度です。



子ども自身の力で窓を開閉し自由に行き来することで、行動範囲を広げ、成長を安全に育みます。

～子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門

Fフロント自動ドア用プロテクトスクリーン

子どもは好奇心が旺盛で、保育園の入り口やマンションエントランスの自動ドア付近で、さまざまな物に気を取られ夢中になります。そのとき自動ドアが開閉し、扉に衝突したり、指を巻き込まれるといった事故が起こりやすく、注意が必要です。「F フロント自動ドア用プロテクトスクリーン」は、自動ドアの室内側に可動式のスクリーンを設置することで、開閉時の扉（戸尻側）との衝突を未然に防ぐ安全性に配慮した商品で、安心して子どもと過ごすことができます。

同商品が「2017年に制定された安全規格に準拠しており、既存の自動ドアに後付けでも設置可能なため、子どもが多く利用する施設などでの安全対策として有効である」として、2018年度「第12回キッズデザイン賞」を受賞しました。不二サッシはこれからも暮らしやすい生活、安心・安全に配慮した商品を開発していきます。

施工イメージ
既存物件にも簡単に取付け可能。

「100年企業」を見据えて

開口部が果たす環境性能に着目

日本アルミニウム協会賞
日本アルミニウム協会では、アルミニウム産業における技術の進歩、製品の開発、需要の拡大をはじめ、協会の運営と事業活動に貢献した個人やグループ等を顕彰することを目的として、開発賞、技術賞を設置しています。

ウィンドウリフォームシリーズ

「ウインドウリフォームシリーズ」が「平成 30年度 日本アルミニウム協会賞」で「開発賞」を受賞しました。

快適な住まいのために開口部に求められる機能は多様化し、省エネへの要請はより高まっています。当社では、開口部が果たす環境性能に早くから着目して、様々な開口部へ取付け可能な外付け可動ルーバー商品「ウインドウリフォームシリーズ」を開発し、夏期の冷房負荷削減など日射遮蔽による環境負荷の低減に貢献する商品を提供しています。

既存の雨戸パネルと交換するだけで簡単に設置可能な「エコ雨戸」、浴室や台所廻りの開口部には「エコ面格子」、雨戸のないサッシや戸袋スペースが確保できない開口部へは「エコ引違い雨戸」「エコ折り雨戸」、マンション等外壁側への取付けができない場合に室内額縁に取付けできるセフティールーバー等、様々な制約のある開口部に対して商品バリエーションを取り揃えています。

サッシや雨戸はメーカーごとに形状が異なり、同メーカーでもモデルチェンジ等で年代によって形状が変わります。「ウインドウリフォームシリーズ」は他社製サッシ枠や雨戸レールにも取付け可能で、新築・リフォームを問わずほとんどの開口部を対象に簡単に取付けられる商品となります。

「100年企業」を見据えて

高断熱・高防露性と高意匠性を実現
快適で豊かな居住空間を提供するビル用断熱サッシ

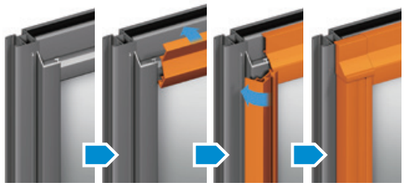
FNS－Ⅱ 100R

「FNS－Ⅱ 100R」は、ビル用に開発したアルミ樹脂複合窓です。アルミと樹脂の素材の良さを活かし、高強度・高断熱を実現しました。ヒートブリッジによる熱損失をなくすことで従来サッシに比べ高い防露性能を発揮し、高強度を維持しながらサッシフレームのスリム化にも成功、眺望や採光といった住まい手の感性に訴求する要素も大きく進化させました。

また、2018年 4月にZEH-M（ゼッチ・マンション）が定義化され、非木造住宅の高断熱化が進むと予想される中、低層から超高層までZEH-Mの普及に貢献できる仕様になっています。特にこだわった点は、内部に使用する樹脂形材のメンテナンスと質感です。長年サッシを使用する中で室内空間の模様変えに合せ樹脂形材の色を変えたり、キズや凹みに対しても樹脂形材を交換できます。そして、樹脂形材でありながらシルバーとステンカラーといったメタリック調の色バリエーションを用意し、公共建築物でもアルミサッシと同様の意匠を維持でき、住宅、非住宅問わず幅広く使用できます。商品ラインナップは、引違い窓、フィックス窓、たてすべり出し窓の３種で、今後、かまちドア、突き出し排煙窓、外動片引き窓を追加設定する予定です。

引違い窓

たてすべり出し窓

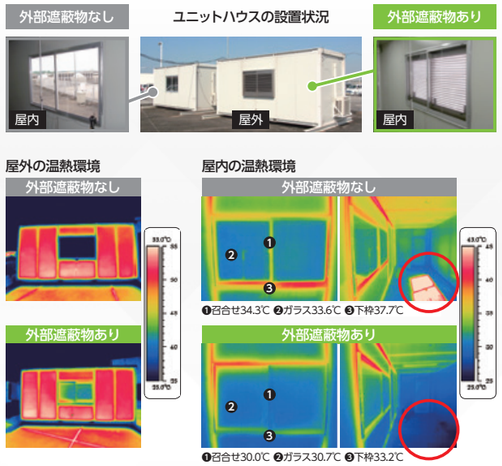

障子樹脂形材の交換イメージ

ルーバーの開閉で採光や採風をコントロール

開閉レバー
室内側の開閉レバーで簡単にルーバーの角度調整が行えます。

ウインドウリフォームシリーズは、角度が自由に変えられるルーバーを採用し、時間帯や暮らしに合わせて日よけ・採風・採光を自在にコントロールできる日射遮蔽商品です。外からの視線をさえぎり、夜間時の換気やプライバシーの保護・防犯抑止効果にも役立ちます。また、ルーバーが外部にあることで日射侵入率を抑える効果があり、夏期の冷房負荷を抑制できます。

夏期の冷房負荷検証試験による温度の比較



当社工場内に設置したユニットハウスでの夏期の冷房負荷比較試験（エコ引違い雨戸を使用）では当商品を設置した場合、冷房負荷を13%低減することがわかりました（測定期間：2016年7月～ 10月）。「よしず」や「すだれ」が夏の暑さを和らげてくれるのは、窓の外で日射しをさえぎるからです。先人の知恵を「ウインドウリフォームシリーズ」に活かしています。

地球環境のために

環境マネジメント

不二サッシグループの環境方針

環境基本方針・行動指針に基づき、環境マネジメントシステム（EMS）を導入して環境保全活動を進めています。環境リスクを製造・加工の段階で対策するだけでなく、設計部門での環境配慮設計や施工部門での環境配慮、各部門でのペーパーレス化を推進し、継続的な改善で経営効果に結び付けていきます。

WEB 基本方針・行動指針全文【トップ＞ 企業情報＞CSR報告】

環境教育

環境マネジメントシステムの理解と、環境意識の向上を図るため ①全従業員を対象とした一般環境教育 ②専門知識を必要とする従業員に対する専門環境教育を実施しています。また、優遇制度を設け、環境関係の公的資格取得を推進しています。

グリーン調達

サプライチェーンに対する取り組み

当社はサプライヤーを事業活動における重要なビジネスパートナーと考え、公平公正・共存共栄を基本として相互信頼関係を築き、ともに発展していくことを目指した調達活動を展開しています。品質・納期・コストはもとより環境管理状況についても確認していますが、当社の環境評価基準による評価点 90 点以上が現状では全体の 29%にとどまりました。さらなる活動向上へ向けパートナー企業と共に力を入れていきます。

継続して推進した取り組み

「樹脂部品の材質刻印の推進」と「各生産拠点個別購買から集中購買比率向上の推進」についての取り組みを持続可能な消費と生産へ向けた活動として継続的に推進しています。

環境行動目標と2018年度実績

達成　未達成項目あり　全て未達成

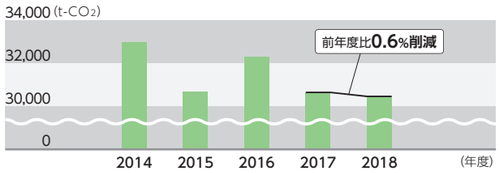
項目			指標	活動項目および目標	2018年度実績	達成度	対応するSDGsゴール
1	地球温暖化対策	生産段階のCO_2削減	CO_2排出量	●生産量（押出＋電解）当たりの電力消費量およびCO_2排出量原単位を前年度比 1.0%改善する	●電力消費量原単位前年度比 2.2%削減 ●CO_2排出量原単位前年度比 4.7%削減 ※ 電力使用量は前年度比 1.9%増加	☀	12
		商品開発におけるCO_2削減	省エネルギー製品の開発	●断熱・省エネ関連商品開発（CO_2削減商品の開発を推進する）	●断熱商品 ComfortN.FNS-Ⅱ 70CF　2商品 ●省エネ商品 アルビームカーテンウォール トランザムタイプ	☀	3 9 11
		再生可能エネルギーの創出	メガソーラーシステムの運用	●メガソーラーシステムの運用による安定的な再生可能エネルギーの創出（通期発電計画の達成）	●3基のメガソーラーシステムを運用 千葉事業所第1発電所、第2発電所および関西不二サッシ発電所の運用（2018年度の3基合計発電量：3,627MWh）	☀	7
		職場におけるCO_2削減	省エネ活動の推進	●各職場での節電の励行	●クールビズ、ウォームビズの実施 エアコン設定温度（夏季 28℃、冬季 20℃） ●デマンド監視装置の運用 ●設備更新（冷凍機・LED化）・ルーフファン自動化など	☀	12
2	循環型社会の形成	資源リサイクルの推進	省資源活動	●新設備・技術導入による省資源活動 ●地下水膜ろ過システムの導入による上水使用量の低減および地域貢献活動	●事業継続計画（BCP）の一環として地下水膜ろ過システムを運用	☀	12 14
		産業廃棄物の削減	総排出量	●廃棄物排出量の削減	●廃棄物排出量：前年度比 3%増加	☁	12
		ゼロエミッションへの取り組み	リサイクル率	●廃棄物のリサイクル率 97.0%以上	●リサイクル率：94.5%	☁	12
3	化学物質の管理	製品含有の化学物質削減	化学物質削減活動の推進	●PRTR法等に対応するSDSを確保 ●部品、部材の安全性の確認	●開発商品に使用する材料のSDSを確認し、指定化学物質の使用を回避	☀	3 12
4	グリーン調達	グリーン調達の推進	グリーン調達関連活動の推進	●グリーン調達に向けた部品・材質への切替え ●サプライチェーンの環境活動向上への取り組み	●サプライチェーンの環境活動調査 ●樹脂部品の材質刻印の推進 ●各生産拠点個別購買から集中購買比率向上の推進	☀	12
5	法規制遵守	水質等の法規制・条例、その他規制の遵守	コンプライアンス教育など遵守活動の推進	●水質、大気、土壌、騒音、有害物質等の法規制・条例、その他規制の遵守状況の確認 ●コンプライアンス教育の充実	●環境教育を含めた、法遵守のためのコンプライアンス教育の実施 ●コンプライアンスマニュアルの刷新 ●関係会社への法遵守環境監査実施 ●2018年度環境法令違反件数：0件	☀	14

地球温暖化防止

CO_2排出量の削減

CO_2排出量削減のため、コンプレッサーのインバータ化および容量削減、空調機の設定温度(夏 28℃、冬 20℃)の徹底、照明設備のLED化等の省エネルギー活動の推進に努めています。2018年度のCO_2排出量は 31,467t-CO_2/年と、前年度比で 0.6%の削減となりました。

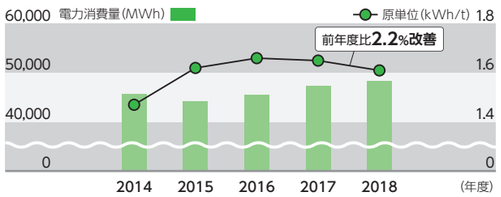
CO_2排出量



消費電力の削減

原単位＝生産量（押出＋電解）当りの電力消費量（kWh/t）を、前年度比で 1.0%改善することを目標とし、生産工程のスリム化を進め 2018年度の原単位実績は、前年度比で 2.2%改善しました。電力消費量は、48,258MWhとなり、前年度比で 1.9%増加となりました。

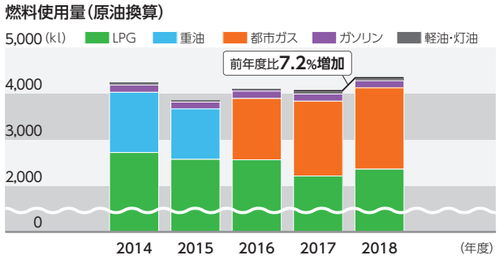
電力消費量



燃料使用量の削減

生産段階で用いられるLPG、都市ガス、ガソリンを代表とする燃料の 2018年度使用量は、原油換算値で 4,315klとなり、前年度比で 7.2%増加となりました。

燃料使用量（原油換算）



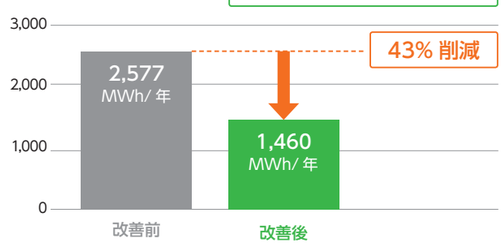
省エネルギー活動

冷凍機更新による省エネ活動

既存冷凍機は、経年劣化による能力低下が著しく、また使用フロン冷媒（R-11）の全廃規制により使用継続は困難な状況となっていました。今回実施した冷凍機更新では、より大きな省エネ効果を実現するため現状把握から仕様選定に至るまで拘りを持って取り組んできました。

更新の実施により、全廃規制対象冷媒(R-11)の使用廃止による地球環境影響改善を図り、また最新機種の選定および能力最適化を実現することで、電力使用量を前年度対比で 1,116MWh削減することができました。今後は、運転パターンの最適化および設備性能維持に努め省エネを推進していきます。

2018年度省エネ効果 1,116MWh



VOICE

山口 晃玄

不二ライトメタル(株) 技術部 西技術G

今回の冷凍機更新では、高効率設備導入によるエネルギー削減に加え、補助金活用にも挑戦し双方で大きな合理化を達成することができました。ともに事前調査に時間を要する作業でしたが、取り組んだ内容に対して結果が得られた今回の経験を活かし今後も省エネ、補助金活用等に取り組んでいきたいと思います。

天井照明LED化による省エネ活動

エネルギー原単位の改善を進める中で、直接生産に寄与しない建物付属関係の天井照明に着目し、電力使用量の削減を図りました。

天井照明は現状水銀灯を使用しているため、2020年度を目標達成年度としたLED照明器具への更新を進めており、2017年度～2020年度の4年計画の3年目を推進中です。消費電力の削減はCO_2排出量の削減にもつながり、一方では工場内が明るくなったことで作業者の動きにも変化が現れています。

2018年度省エネ効果 **843MWh**

VOICE

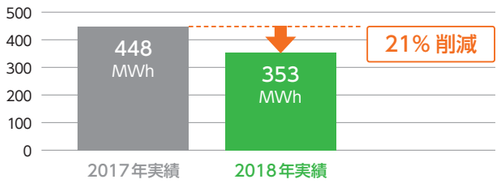
霍見 鑑大
不二ライトメタル(株) 技術部 西技術G

全工場の水銀灯は約2,500台あり、1年ごとの効果検証が当初試算した以上の効果が出ていることから達成感があり、2020年度の目標達成に向けてより一層の努力を重ね、社会貢献を果たしていきたいと思います。

ルーフファン自動運転による省エネ活動

これまでルーフファンは常に運転状態でしたが、これを反省し、必要な場所と台数を年間プログラムをもとに稼働し、現場作業者が運転状況を確認できる状態にしました。これにより作業者の省エネ意識の向上につながると考えています。さらに電力デマンド警報対策として、警報が発生した場合にはルーフファンを自動で停止し、警報解除時は自動で復旧するシステムを採り入れています。

2018年度省エネ効果 **95MWh**



VOICE

村上 竜矢
不二ライトメタル(株) 技術部 西技術G

現在、他工場への横展開を進めていますが、現行のプログラムには満足はしていません。いろいろなアイデアを考えながらさらなる省エネプログラムを現場担当者と模索していきたいと考えています。

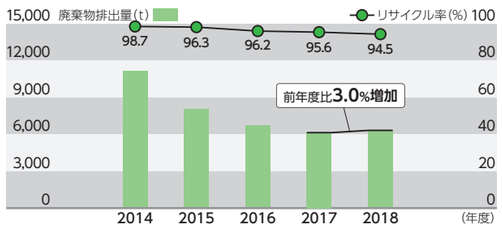
環境負荷の低減

廃棄物排出量の削減と3Rの推進

産業廃棄物排出量は、6,335tと前年度比3.0%増加となりました。また、再利用・再資源化分が5,987t、リサイクル率は94.5%となりました。今後は、廃棄物排出量を削減した中で、ゼロエミッション*を達成できるように3R運動に取り組んでいきます。

＊ゼロエミッション：廃棄物のリサイクル率97%以上。2017年度は、委託先廃棄物処理業者撤退によりリサイクル率は悪化。

廃棄物排出量とリサイクル率



化学物質の管理

生産段階で使用される化学物質の危険有害性や取り扱い・保管上の注意および緊急時の応急措置等をSDSで把握し、保管・管理を徹底しています。

PRTR法への対応

PRTR法（有害物質排出移動登録）に基づき届出を行っている化学物質の排出量、移動量は次の通りです。

PRTR対象物質（2018年度）　単位：t/年

番号 化学物質名		309 ニッケル化合物	374 ふっ化水素及びその水溶性塩	405 ほう素化合物	412 マンガン及びその化合物
取扱量		4.82	3.75	3.00	1.26
排出量	大気	0.00	0.07	0.00	0.00
	水域	0.68	0.00	2.13	0.00
	土壌	0.00	0.00	0.00	0.00
排出量	上下水	0.00	0.00	0.00	0.00
	上記以外	0.00	0.00	0.00	0.00
使用量		4.82	3.75	3.00	1.26

※ 生産範囲の拡大により2017年度はマンガン及びその化合物が追加となっています。

PCBの管理

PCBを含むコンデンサ、変圧器、安定器について廃棄物の処理および清掃に関する法律の基準に沿って適正に保管・管理をしています。また、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物等の保管および処分状況等届出書」により報告をしています。

法規制遵守

環境法規要求事項一覧表に基づき点検・管理を行っています。特に監視ポイント毎の現場点検、公害防止管理者の職務改善、環境教育およびコンプライアンス教育に重点を置いた改善活動を行っています。

緊急事態への対応

化学薬品や燃料の流出など、工場外への重大な環境汚染を未然に防ぐため、緊急事態対応マニュアル・手順書を作成し、手順書に基づく訓練を行っています。

環境会計・マテリアルフロー

2018年度の環境会計

環境保全コスト　単位：千円

分類	主な取り組み内容	投資額		費用額	
		2017年度	2018年度	2017年度	2018年度
公害防止コスト	燃焼ガス処理施設、排水処理施設、監視施設	14,778	47,127	80,928	82,021
地球環境保全コスト	照明のLED化、省エネルギー等	1,800	436	247,508	26,654
資源循環コスト	廃棄物処理等	6,964	1,750	90,245	91,066
管理活動コスト	環境マネジメント、事業所緑地整備等	7,528	0	30,365	44,136
社会活動コスト	工場見学、地域清掃活動等	0	0	5,450	6,140
合 計		**31,070**	**49,313**	**454,496**	**250,017**

【集計範囲】不二サッシ（株）千葉事業所
※ 環境保全に資する製品等の研究開発コストなどは含んでいません。

エネルギー使用量内訳

エネルギー	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
電気（MWh）	44,255	46,816	47,341	48,258
LPG（t）	1,966	1,959	1,690	1,804
重油（kl）	1,087	0	0	0
ガソリン（kl）	166	179	174	173
軽油（kl）	25	26	28	25
灯油（kl）	9	8	0.5	5.1
都市ガス（千m^3）	−	1,148	1,400	1,522
環境負荷総量（t-CO_2）	**31,666**	**32,311**	**31,652**	**31,467**

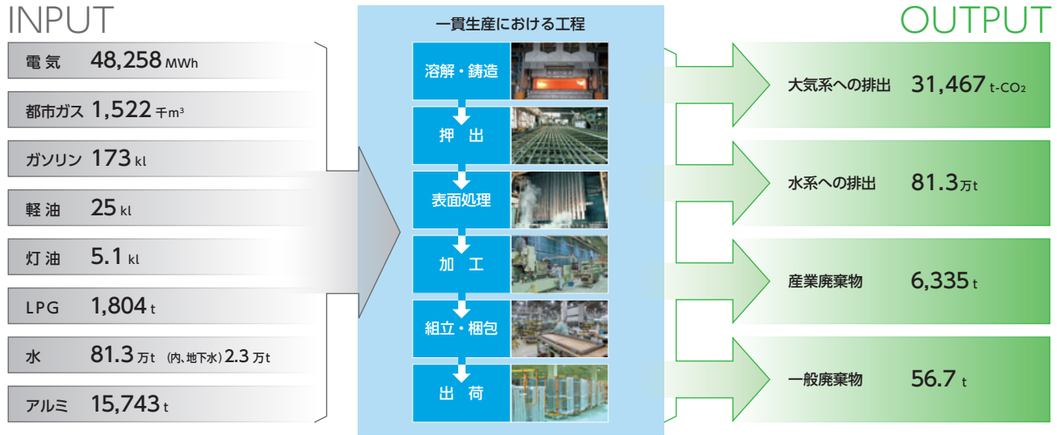
【集計範囲】
不二サッシ環境マネジメントシステム導入主要４サイト（本社、東京、千葉、関西）
※ 2016年度より重油を都市ガスへ変更

環境負荷削減量（CO_2換算）　単位：t-CO_2

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
環境保全未対策時の環境負荷総量	30,483	31,781	31,921	33,326
環境負荷総量	31,666	32,311	31,652	31,467
環境負荷削減量	**− 1,183**	**− 530**	**269**	**1,858**

【集計範囲】
不二サッシ環境マネジメントシステム導入主要４サイト（本社、東京、千葉、関西）
※ 環境保全未対策時の環境負荷総量：
2002年度の原単位（2,116.9t-CO_2/千t）×当該年度の押出生産量（千t）
※（−）の付いた値は増加を示しています。

マテリアルフロー



お客様サポート

製品品質・安全への取り組み

不二サッシグループ　品質保証体制

基本方針

コンプライアンス経営に基づいた安心、安全で地球環境に優しい商品づくりを通して、グループ全体で顧客満足に徹し、会社業績の貢献に向け邁進する。

不二サッシグループ　製品安全行動指針

不二サッシグループは、コンプライアンス経営の一環として、製品安全を経営上の責務と位置づけ、お客様に安心、安全な製品をお届けするために、グループ全体で製造・販売する製品の安全確保に努め、社会に貢献し、信頼される企業となるよう積極的に取り組んでいきます。

WEB 詳細は【トップ＞ 企業情報＞製品安全行動指針】

2018年度活動実績

品質管理活動報告

ISO9001・JIS取得状況

不二サッシグループでは、各生産拠点でISO9001およびJISマーク表示制度を取得するとともに、それに則った品質マネジメントシステムを構築し、グループ全体で品質活動の取り組みを強化し、品質レベルの維持向上を図っています。

取得工場一覧　●：2015年度版への期限内移行完了

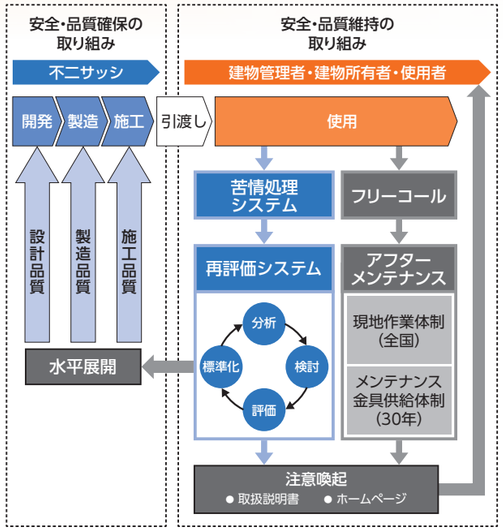
取得者／製造工場		ISO9001	JISマーク表示制度
不二サッシ（株）	千葉工場	●	○
	技術本部	●	−
グループ会社			
北海道不二サッシ（株）		●	○
しらたか不二サッシ（株）		−	○
不二サッシリニューアル（株）		●	○
日海不二サッシ（株）		●	○
関西不二サッシ（株）		●	○
（株）不二サッシ九州		●	○
（株）沖縄不二サッシ		−	○
FUJISASH PHILIPPINES,INC.		−	○
不二ライトメタル（株）	本社工場	●	○
	東日本事業部	●	○

中央規格委員会（5月）、品質管理委員会（四半期）の開催を通じて、品質情報、改善情報を共有し、FSK規格等の品質基準策定につなげました。また、不二サッシ版品質マニュアルに基づく、グループ内の品質マネジメントシステム（QMS）の2015年版への移行状況を確認しました。

CS推進活動報告

苦情処理対応

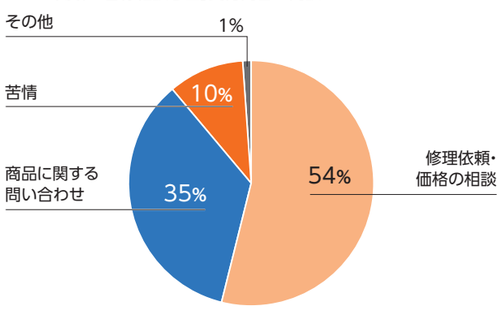
お客様からの苦情・クレームは担当拠点（支店、営業部門）が受け付け、調査、対策を協議し、対応します。苦情・クレーム対応の情報は、苦情処理システムで品質保証部が受け付け、改善が必要な事象については、「再評価システム」で分析、検討、標準化を行ない恒久対策を講じます。これらの情報や対策は、各部門の情報ツールを通じて水平展開し、再発防止につなげています。また、新商品を開発する際の確認項目として用いられています。



お客様相談窓口

お客様からのフリーダイヤルで商品問い合わせ、修理部品の購入、メンテナンス依頼に関する問い合わせが寄せられた場合、迅速な対応をするため、在住エリアを認識し、直接、担当地域の窓口につながるシステムを採用しています。

2018年度「お客様相談窓口」受付内容の内訳



安全・安心にご使用いただくための取り組み

商品を安全・安心にご使用いただくための情報として、「商品の取扱説明書」を発行しています。

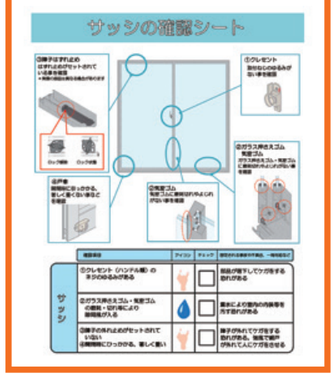
また、商品の脱落、破損などを未然に防止するための情報としてまとめた「商品の取り扱いについてのお願い」、「お手入れ・保守点検に関するお願い」を含め、より多くのお客様に見ていただけるよう、ホームページに掲載しました。

WEB 取扱説明書
http://www.fujisash.co.jp/hp/product/buil/manual/index.htm

WEB 網戸の取り扱いに関するお願い
http://www.fujisash.co.jp/hp/support/safety/amido/

WEB 住宅部品のお手入れ・保守点検に関するお願い
http://www.fujisash.co.jp/hp/support/safety/mado/

こちらをクリックすると保守点検用リーフレットをご覧いただけます。



事故の未然防止に繋がるように、不具合の有無をご自身で確認していただける「確認シート」保守点検用リーフレットをご用意しています。

- サッシの確認シート
- 網戸の確認シート
- ドア（玄関・内装）の確認シート
- 手すりの確認シート

社会とともに

不二サッシグループ各社の活動

帰宅困難者の受入訓練を実施

不二サッシ・環境事業部

環境事業部が入居する新川崎三井ビルは、行政から災害時の帰宅困難者一時滞留施設として協力を求められ、行政との訓練を毎年実施しています。また、ビルも独自に帰宅困難者受入訓練を実施しており、毎回、環境事業部も他のテナント会社とともにこの訓練に参加しています。非常時は平常時と同じ行動は不可能であり、行政、近隣、ビル館内がパニックになります。有事の際にどのような行動をとるのかを決めておくことで、冷静な行動、適切な情報収集が可能になります。今回は避難者の滞留エリアを設営するゾーニング班、受付設営・備蓄品配布班、救護所設営班、帰宅困難者役に分かれて訓練を実施。参加したテナント会社と情報交換することで、何を優先すべきかを明確にできたと感じています。震災時においては、被災地域にいるすべての人が被災者となり、平常時と同じ活動が困難となります。早期に平時の状態に復旧するためにも、共助という考え方に基づき近隣相互に協力し対応する必要があるとこの訓練を通じて実感しました。

VOICE

東原 哲也

不二サッシ(株)　環境事業部

帰宅困難者受入訓練にはこれまで3回参加していますが、回を重ねるごとに受入対応が改善されていると感じます。今回は実際に被災された方の意見を取入れ,新たに携帯電話の急速充電コーナーが設置されました。訓練というと通り一遍おざなりな対応となりがちですが、テナント各社も皆まじめに参加しており、災害に対しビル・テナント共に真剣に取り組んでいることが伺えました。
環境事業部の管理を担当する立場として、この訓練を通じた経験を自社の備えに活かすことが大事だと感じています。

デザインパンチングパネルの取り組み

日海不二サッシ

「デザインパンチングパネル」は、金属板に大小様々な穴を開けてデザインを表現する技術です。「パンチングアート」とも呼ばれ、主にタレットパンチプレス（以下、TP）という加工機で加工します。少し離れて見るとモノクロ写真や墨絵とも違う独特な味わいが楽しめます。

写真やイラストのデータは、1,677万色の色情報を持つ「点」で構成されています。当社では、その点の色の濃淡によって穴の大きさ（TPのパンチ径）を自動で割り当て、円で構成されたCADデータを生成するソフトを開発。また、パンチングCADデータからTP加工データを生成するソフトも同時開発し、一貫製作することで新たな分野への参入が可能となりました。

当社工場の設備更新に際して必要な安全柵として、中央に不二サッシロゴマークを配置し、その左右に金沢城と兼六園を描いた全長20m、高さ３mの巨大デザインパンチングパネル壁を製作し設置しました。穴径は9種類、穴数は38万４千におよび、来社されるお客様を魅了しています。当社ではこの技術を活かし、建材やインテリア製品への受注を広げていきます。

金沢城・兼六園の巨大パネル

金沢城橋爪門

石川県観光PRマスコットキャラクター「ひゃくまんさん」
許諾番号（C）2013　石川県　ひゃくまんさん #0732

県内特別支援学校のインターンシップ受け入れ

日海不二サッシ

当社ではこれまでも高校生のインターンシップは受け入れていましたが、知的障害のある方の受け入れはなく、今回が初めての試みとなりました。期間中は金具のピッキング作業を体験してもらいましたが、教えたことをよく理解し、一人工以上の働きをしたこともあり、社員からは「夏休みにアルバイトに来ないか？」と勧誘する様子も見られました。また、担当の先生からは障害のある生徒の就業体験は、今後就職する上でとても大事なことだと評価していただき、その貴重な機会を提供できたことは当社にとっても非常に良い経験となりました。

生徒さんからのお礼状

メダル作成プロジェクト

沖縄不二サッシ

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の関連イベントとして「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」が実施されました。これは不要となったパソコンや携帯電話、スマートフォン等の小型家電をリサイクルし、入賞メダルにする世界初のプロジェクトです。当社では回収期間中の2018年10月から2019年3月迄社員に呼びかけ、タブレット1台、携帯電話12台を回収し沖縄県庁に提供しました。全国で金を約32kg、銀約3,500kg、銅約2,200kg回収しオリンピック・パラリンピックの金・銀・銅合わせて約5,000個のメダルに必要な量を100%確保しています。2019年7月にメダルのデザインが公表されましたがメダルだけではなくリボンやケースにも色々な工夫があり日本人ならではのきめ細やかさがありました。このプロジェクトに参加することで遠い沖縄の私たちがほんの少しですがオリンピック・パラリンピックの選手達にメダルを届けることができるのかと思うとうれしくなりました。今後もこのような環境にやさしい持続可能な社会への貢献に努めていきたいと思います。

回収した携帯電話

無事故・無違反コンテストに参加

山口不二サッシ

山口県主催の「2018無事故・無違反コンテスト150」に参加しました。150日間にわたり無事故・無違反を目指すことにより、社員の交通安全意識と交通マナーの向上および安全運転意識の習慣化による交通事故防止を目的としています。当社では2チーム10名が参加しました。この経験を通じて交通安全の意識、社会的責任の自覚、初心忘るべからずを念頭に入れ交通事故防止に努めていきます。

交通安全3S運動

Stop（ストップ）	赤信号、一時停止場所では必ず停止 横断歩道や交差点では歩行者優先 飲酒運転をしない！させない！
Slow（スロー）	見通しの悪い交差点では徐行する 急がない、慌てない
Smart（スマート）	運転中は携帯電話を使用しない 全ての人に思いやりを持って、優しい運転

緑のカーテン取り組みを継続

しらたか不二サッシ

しらたか不二サッシは、夏の暑さ対策の一環として「緑のカーテン」の設置を2015年から毎年行なっています。初めの年は、アサガオを植えましたが葉の量が足りず、思うような効果が得られませんでした。そのため、翌年からゴーヤに変えたところ見事に葉が茂り、工場への直射日光を遮ってくれました。さらに、たくさんの実を収穫することができ、従業員だけでは消費しきれず、近隣へも配り大変喜んでいただきました。毎日の水かけや、除草作業など大変なこともありますが、働きやすい環境づくりのため、これからも毎年続けていきたいと考えています。

緑のカーテン

収穫したゴーヤ

従業員とともに

TOPICS

女性活躍推進プロジェクト

2017年に発足した女性活躍推進プロジェクトで提案された”社内インターンシップ制度”が2018年7月より運用開始され、従業員の能力開発やキャリア形成におおいに役立てられました。

VOICE　大濱 奈々美　不二サッシ(株) 環境事業部

社内インターンシップ制度で、2ヶ月半の間積算部に所属し研修を受けました。工場の工程や見積書および価格表の作成方法など、入社以来知らずにいたことが理解でき、学ぶ楽しさを感じました。仕事の選択肢が増え、今後考えられる育児休業やその後の復帰について抱いていた不安が薄れました。また、積算部での経験が環境事業部の業務効率化につながり、新システム開発メンバーにも抜擢されましたので、今後も学んだことを上手く生かしていきたいと思います。
多くを得る機会となり、他部署との交流も増え、さらに働きやすくなりました。他部署に興味がある方、無い方にも、社内インターンシップ制度の利用をお勧めしたいと思います。

VOICE　坂井 睦実　不二サッシ(株) 経営企画室

2018年8月から1年間、社内インターンシップ制度を利用しました。在籍の営業本部から経営企画室への研修で、在籍部署では経験することができない、不二サッシグループ全体の動きなどを広く知り、不二サッシグループ会社や、社外への人脈を築くことができました。
広い視野を持ち、今後の業務に活かしていきたいと思います。

「しが障害者施設応援企業」認定

社会福祉法人メイプルは、障害者の就労継続支援を行う事業所として1995年、滋賀県に誕生しました。設立当初から不二サッシ大阪工場(現・関西不二サッシ)の技術指導を受け、面格子、ガラリといった建材製品を製造しています。現在、男女9名の障がいのある方々が不二サッシの社員として勤務しています。不二サッシは昨年度に引き続き令和元年度「しが障害者施設応援企業」制度のA級事業者として認定されました。引続きメイプルとともに障がいのある方々の活躍を支援していきます。

明日の日海不二を考える若手プロジェクト

「明日の日海不二を考えるプロジェクト」は社内の活性化を実現するために、40歳以下の社員で構成された若手中心のプロジェクトです。2017年8月に発足し、現在は16名で活動しています。社長をはじめ他の社員からの応援もあり、これまでに社内レクリエーションや朝のあいさつ運動など大小様々な活動を行ってきました。中でも2018年11月の日海不二サッシ設立60周年記念式典は、プロジェクト最大イベントとなりました。今後も社内の活性化はもとより、お客様や地域社会などステークホルダーの皆様とつながる活動を企画し、実施していきたいと考えています。

60周年記念式典

VOICE　武田 真一　日海不二サッシ(株) 品質管理グループ

部門の垣根を越えた交流、それが「明日プロ」の魅力だと思います。自由すぎる？くらいの発想から思いがけないアイディアが出る楽しい集まりです。60周年記念式典は、初めて経験することばかりでスケジュール通りに進められるか？と不安でしたが、メンバーや会場のスタッフ全員の協力で無事にやり遂げ、この時の達成感は忘れられない思い出になりました。
これからも様々な課題に対してメンバー全員の知恵を出し合い、ともに成長していきたいと思います。

VOICE　石原 新也　日海不二サッシ(株) 製造部

社内の若手で構成されるプロジェクトと知り、自ら希望して参加しました。コミュニケーションを高めるスポーツ、社員の認知度を高めるあいさつ運動、会社からはスローガンの決定と60周年記念式典を任されるなど、とてもやりがいのある活動です。中でも60周年記念式典は、明日プロが企画・実行の全てを担い、大きな達成感を得た貴重な体験でした。3年目を迎えた明日プロ。ますますパワーアップし、メンバー一丸となって取り組んでいきます。

プロジェクトのメンバー
左から）武田 真一
宅間 一海
石原 新也
田中 宏

人権の尊重

人権に対する基本的な考え方

不二サッシ行動規範のひとつ「私たちは活力あふれる気風づくりに努めます」は、全社員が一致協力して、お互いに尊重し合い、認め合い、持てる能力を最大限に発揮する社風を築いていくことを示しています。不二サッシは、働きがいのある、ハラスメントのない職場環境づくりを目指しています。

ソフトボール大会

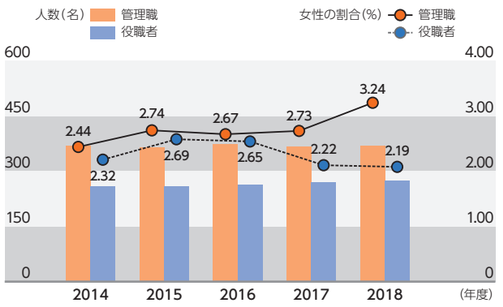
女性活躍の推進

女性活躍推進法「一般事業主行動計画」策定

女性従業員の個性と能力が十分に発揮できる働く環境整備を行うため、行動計画を策定しました。

1. **計画期間**
   2016年(平成28年) 4月1日から
   2021年(令和3年) 3月31日
2. **当社の課題**
   (1) 女性の採用数が少ない(特に専門職種)
   (2) 正社員と同等の業務を担っている非正社員の雇用環境改善が進んでいない
3. **計画内容**
   目標1　採用者に占める女性割合を30%以上とする
   〈 取組内容 〉
   ● 求職者に対する積極的な広報(特に専門職種)
   ● 育児・介護・配偶者の転勤等を理由に退職した社員に対する再雇用制度の導入・利用促進
   目標2　非正社員の職種・雇用形態の転換を実施する
   〈 取組内容 〉
   ● 非正社員の処遇を見直す
   ● 非正社員を対象とした職種・雇用転換を促進する

管理職・役職者に占める女性の割合

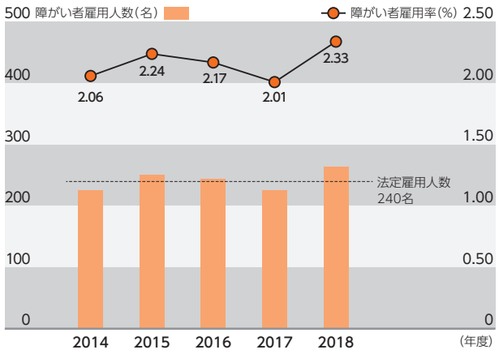


障がい者雇用

不二サッシは、社会福祉法人メイプルの運営等を行い、社会的責務を果たすべく、障がい者の就業に努めています。障がい者の雇用は、障がいのある方が障がいのない方とともに一般企業においてごく自然に働けるという「ノーマライゼーション」の理念に基づいています。

不二サッシは、コンプライアンスの観点からも、また、企業の社会的責任を果たすという観点からも障がいのある方の活躍に向け全社をあげて取り組んでいきます。

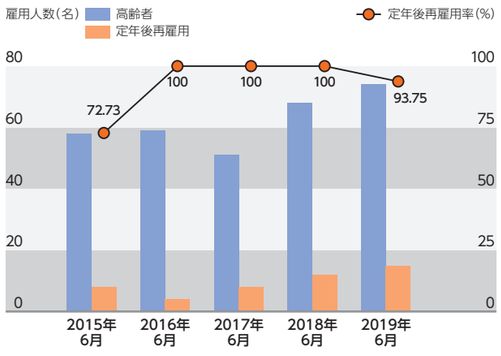
障がい者雇用実績



高齢者の再雇用

高齢者雇用は、少子高齢化が急速に進展し、人口減少に伴う労働力不足という中長期的な視点からも重要な課題です。不二サッシは、定年後も継続して勤務できる再雇用制度を導入し、就業機会を確保するとともに、それぞれの経験と知識を活かし活躍する環境を整えています。

高齢者雇用と定年後再雇用の実績



従業員とともに

人材育成

人材に対する基本的な考え方

不二サッシは、企業発展の原動力は優秀な社員であるとの認識に立ち、次の目的に沿って教育訓練を行っています。

① 会社の経営理念および経営方針に則り、会社の発展に貢献し、仕事に生きがいを持つ創造的な社員の育成を図る。
② 経営および会社をとりまく社会情勢や技術革新の進展に伴って要求される能力要件が変化しても、それに対応できるような応変能力のある社員の育成を図る。

教育訓練の種類　① 階層別集合研修　② 職場研修（OJT）
③ 自己啓発支援研修　④ 海外語学研修教育

新入社員研修

若手社員研修（3年目）

教育・キャリア支援

社員の自己啓発意欲を喚起し促進する目的で、通信教育の紹介や受講料の援助を行っています。また、公的資格取得者には毎月手当を支給しています。

通信教育受講者数の推移　単位：名

分類	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
階層別	54	54	42	47
自己啓発	15	13	15	11
部門長推薦	25	27	20	33
全体	94	94	77	91

適材適所の人材配置

年1回、従業員自らの考え（業務を行う上での自己評価、職場について感じていること、自らのキャリア形成・能力開発のために今後やってみたい職務等）を自己申告書に記録し、それをもとに職場の上司と話し合う制度を設けています。自己申告書は、従業員の適正配置、能力開発、教育指導等の参考にします。

公正公平な人事制度

職能資格制度に基づいて従業員の能力、成果、意欲を公正に評価することが、各人の能力、資質と士気を向上させ、適正な人事上の処遇（異動、配置、昇格、昇給、賞与および教育訓練等）につながります。

新規管理職研修

模擬面接

グローバル人材の育成

不二サッシフィリピン社

不二サッシフィリピン社（フィリピン共和国）の「不二サッシ設計センター」では、現地従業員を日本国内において設計研修を行いスキルの向上に努めています。また、優秀な現地従業員を、不二サッシに転籍させ日本国内の事業場においてともに仕事する環境を整備しています。

関西不二サッシ

関西不二サッシでは海外実習生制度を活用し、2018年度と2019年度それぞれ15名のベトナム人実習生を採用しました。1期生15名は2019年1月に技能検定基礎級の試験に全員が合格し、実習生2号となり3年間の在留が認められました。1期生は残り2年の間に技能検定随時3級の試験に合格すると、実習生3号となり2年の延長が認められます。生活環境の違う日本において、日本語の勉強と加工・組立作業に取り組み、語学力、技術力ともに進歩し当社の大きな戦力となっています。2019年6月に来日した2期生は先輩の1期生に相談することで成長が早く、早期に戦力となりそうです。当社も日本語検定の取得援助など、最大限支援していきたいと考えています。

関西不二サッシ実習生　社長との集合写真

ワークライフバランス

介護支援

年次有給休暇の全てを半日ずつ使うことができます。また、2年経過すると消えてしまう年次有給休暇を「有給休暇積立制度」として私傷病療養、家族の育児・介護・看護および社会貢献活動目的でさらに1年間使うことができます。

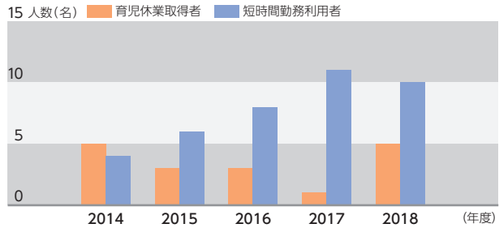
柔軟な勤務制度

職種によって在宅勤務を認めネットを通じ相互の連絡や会議への参加等を実施しています。個人の事情に応じた働き方を実現する環境づくりに取り組んでいます。

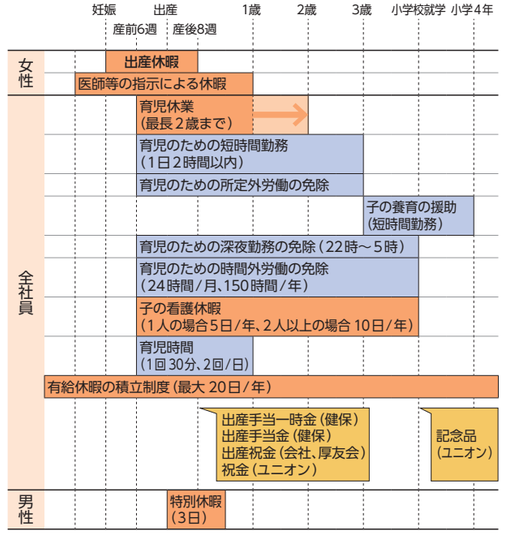
仕事と育児の両立

育児休業期間が終了し、職場復帰後も、小学校第３学年が終業するまでの間、短時間勤務ができる育児を援助する制度を導入しています。

育児支援制度利用者数の推移



育児に関する人事制度



労働安全衛生

労働安全衛生に対する基本的な考え方

「安全衛生は全てに優先する。安全衛生なくして生産性、品質の向上無し」という、トップの決意のもと、決めたことは守り、守らせて、不安全状態、不安全行動を完全に排除する職場づくりをすることを安全衛生管理の基本方針としています。

従業員の健康増進

不二サッシは不二サッシ健康保険組合と協同で、毎年実施する特定検診（定期健康診断）や特定保健指導等によって、従業員の健康状況を把握し、疾病の早期発見と予防のための適切な管理を行なっています。

なかでも、日本人の２人に１人が「がん」になると言われている「がん」対策として、早期発見、早期治療のため「人間ドック」「乳がん検診」「前立腺検査（PSA）」の受診補助を実施しています。また、健康診断結果をもとに、再受診の勧奨や特定保健指導などのフォローを行っています。

2018年度受診状況等

前立腺検査（PSA）受診率	乳がん検診受診率	人間ドック補助利用者
約91％	約61％	本人34名
対象者：366名 受診者：334名	対象者：168名 受診者：103名	（家族 11名）

平成30年度労働安全優良事業場「優良賞」を受賞

不二サッシ千葉工場は、一般社団法人日本アルミニウム協会の「平成30年度 労働安全優良事業場表彰」で「優良賞」を受賞しました。この表彰は、社員の「休業および不休業災害、直近３年間がゼロ」が条件であり、日本アルミニウム協会安全委員会の推薦を受け、理事会で決定し贈られるもので、通算3回目の受賞となりました。今後も職場と従業員の安全・安心の確保のため、「安全朝礼」「環境・安全パトロール」等の活動を継続し、「労働安全衛生規則第96条（火災及び爆発）の届出事故ゼロ」と「構内協力会社の休業および不休業災害がゼロ」も条件とする「特別優良賞」を目標に努力していきます。

マネジメント

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

当社のコーポレートガバナンスに関する基本的な考え方は、当社グループ全体の企業価値の向上と強固な経営基盤の構築を通じて、お客様に信頼され、社会に貢献し続けるという経営基本方針を実現するため、責任ある経営体制の確立と、経営の透明性向上並びに経営に対する監視・監督機能の強化に努めることで、ガバナンスの強化を図っています。

基本原則1　株主の権利・平等性の確保

当社は、株主の権利確保、その適切な行使、および株主の平等性を確保するべく対応いたします。

基本原則2　株主以外のステークホルダーとの適切な協働

当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の創出は、従業員・顧客・取引先・債権者・地域社会をはじめとする様々なステークホルダーによるリソースのご提供やご貢献の結果であることを十分に認識し、これらのステークホルダーとの適切な協働に努めてまいります。

基本原則3　適切な情報開示と透明性の確保

当社は、株主や投資家等との建設的な対話が可能となるよう、会社の財政状態・経営成績等の財務情報のほか、経営戦略・経営課題、リスクやガバナンスに係る情報等の非財務情報に関して、適宜解かりやすい情報提供に積極的に取り組んでいきます。

基本原則4　取締役会の責務

取締役会は、株主に対する受託者責任・説明責任を踏まえ、会社の持続的成長と中長期的な企業価値の向上を促し、収益力・資本効率等の改善を図るため、独立した客観的な立場から、取締役および執行役員に対する実効性の高い監督を行います。

基本原則5　株主との対話

当社は、株主との建設的な対話を促進するために、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指したビジョンを策定し、当社の経営方針を分かりやすい形で明確に説明し、株主の理解が得られるよう努めています。

コーポレート・ガバナンス体制

当社は、会社法上の機関設計として、監査役会設置会社を選択しており、監査役会は、適法性、妥当性の面から取締役の職務執行状況の監査を行っています。

取締役会は、経営上の重要事項の決定と業務執行の監督を行っています。当社では、監督機能の強化を図るべく社外取締役を選任しています。

また、執行役員制度を導入し、経営と業務執行を分離して機能・責任の明確化を図っています。社内の意思決定機関として、取締役、執行役員などで構成される経営会議を毎月１回以上開催し、意思決定の迅速化を図っています。

なお、社外取締役、社外監査役からは、四半期ごとに関係役員と意見交換会を実施し、社外役員の意見を取り入れる機会を設けガバナンス機能を強化しています。さらに年に１度、取締役および監査役に対して、取締役会に対するアンケートを実施し、取締役会の実効性に関する分析・評価を行い、経営上重要な事項の意思決定機関として機能していることを確認しています。

取締役会の実効性評価

当社は、取締役会が有効に機能しているかを検証するため、2018年度は各取締役による自己評価等を実施し、運営面の確保および審議の内容に関して分析しています。また、「意見交換会」において、独立社外取締役の適切な関与・助言を得て、取締役会のさらなる強化につなげています。
なお、2018年度において、当社取締役会は 21 回開催され、毎回、経営戦略や設備投資等の様々な経営課題、業務執行について活発な議論が行なわれており、取締役会全体の実効性が概ね確保されていると認識しています。

（社外役員の意見）

会議で議論されている問題について、以前より皆が活発に参加していることは評価できます。問題とされていることについて他の部門のことであっても、自分には関係ないと思わず、「自分の部として会社のために何をすべきか」を考え積極的に協議することによって、より良い会社になっていくと思料します。

（社内役員の意見）

経営会議、取締役会での社外役員からの意見・問題提起も適切に行われており、今後、更に実効性を高めるために会社法改正等を踏まえた適切な運営環境整備に臨機応変に対応できるよう議論を重ねていく必要があります。

コンプライアンスの推進

下請法勉強会

2018年度は、東京・埼玉・神奈川・石川・愛知・福岡の各拠点で、中小企業庁から派遣された弁護士による下請法の講義を行いました。各拠点、関係会社から303名が参加し、建設事業ガイドラインに基づく下請法の解説や事例の講義を受け、従業員の下請法に関する意識が高まりました。

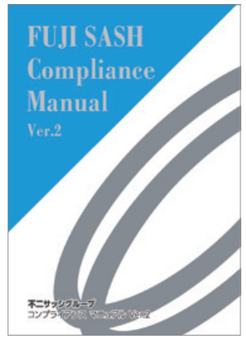
コンプライアンスセミナー

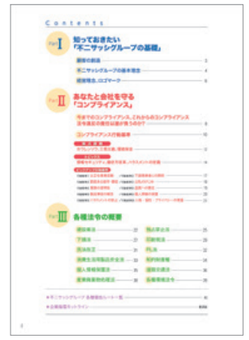
2018年度は、北海道・東京・石川・広島・福岡の各拠点で、コンプライアンスセミナーを実施しました。各拠点、関係会社208名が参加し、事例をもとにコンプライアンスに抵触した場合の影響や原因分析・再発防止等の教育を行いました。

「不二サッシグループ コンプライアンスマニュアルVer.2」発行

2018年度は「コンプライアンスマニュアル」初刊発行から10年以上が経過し、当時に比べてコンプライアンスが広く社会に認知されるようになり、今日では、企業に対する社会的責任や公共的使命を要請する機運が一層高まっています。

今般、コンプライアンスマインドをより一層向上させ、併せて基本的事項を再認識することを目的に、「コンプライアンス マニュアル Ver.2」を発行しました。





マニュアルの構成

Part Ⅰ　「知っておきたい不二サッシグループの基礎」

創業100周年を見据えグループが同じ目的意識を持って邁進すべく、顧客の創造や、不二サッシグループの基本理念について解説しています。

Part Ⅱ　あなたと会社を守る「コンプライアンス」

3つの重点課題をはじめ、情報セキュリティや働き方改革、ハラスメントの定義など、どのような言動が問題となり、どのような対応が望ましいのかなど、事例をもとに解説しています。

Part Ⅲ　各種法令の概要

当社グループに係わる重要な法令について、その概要を解説しています。

ホットライン

当社では、法令違反や社内規定違反を相談する窓口として、内部通報制度である「企業倫理ホットライン」を設けています。社内報に「企業倫理ホットライン」の通報先を掲出するなど社内周知を行い、第三者機関の窓口を利用することで、通報者の保護と適正な処理を行い、問題の早期発見と解決を図っています。また、その運用・通報状況について定期的に取締役会に報告を行っています。

コミュニケーション

ステークホルダーとのコミュニケーション

決算説明会

当社は、第2四半期と決算時にマスコミ各社を対象に決算説明会を開催しています。2019年5月15日、東京証券取引所で2018年度決算を発表し、同所内記者クラブで執行役員管理本部長が記者会見を行いました。その後、社長以下関係役員が出席して、ホテルメトロポリタンエドモンドで「決算発表および懇親会」を開催し、業界紙・新聞記者との活発な意見交換が行われました。
また、トピックスとして、不二ライトメタルのマグネシウム合金製医療機器部材の開発状況などを紹介しました。決算説明会の資料は、当社ホームページに公開し、株主をはじめとするステークホルダーの皆様への適正な情報開示に努めています。

共済会との連携

平成30年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰」授賞

2018年10月5日東京都港区にあるメルパルクホールで、不二サッシが推薦した不二サッシ工事共済会北陸支部会員、(有)八日市サッシ工業の横山勝則さんが、厳しい審査をクリアし「優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター)」を授賞されました。

「優秀施工者国土交通大臣顕彰」(建設マスター)とは、「国土交通省にて、建設産業の第一線で「ものづくり」に携わる方々に誇りと意欲を持っていただくとともに、その社会的評価の向上を図ることを目的として、特に優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をされている建設技能者の方々を対象として、1992年度より毎年選出して、新たな建設マスターを誕生させています。2018年度は全国で422名が選出されました。

建設マスターは、27回目となる今回の顕彰で、受賞者総数は10,073名になります。その内1992年以降に不二サッシからの推薦者として授賞されたのは延べ13名となりました。

表彰式(前列:横山さん)

不二サッシ工事安全大会

「不二サッシ工事共済会」は不二サッシの基幹的な協力会社で組織されており、244社806名の会員で全国11支部に分かれて活動しています。災害撲滅を目的とした安全意識の高揚を図るため毎年6月の全国安全週間準備期間中に全国8カ所で安全大会を開催、安全衛生管理実施計画の説明および外部講師を招いた安全講話を行っています。

2018年度は休業災害ゼロを達成しましたが不休災害が発生しました。2019年度は工事共済会のスローガン「目くばり気くばり思いやり みんなで無くそう ヒューマンエラー」のもと、不休災害もゼロを誓い合いました。

また技能者が年々減少している中、優秀技能者に対し少しでも魅力ある職種および技能者になって戴く事を願い表彰を実施し毎年大きな成果を上げています。

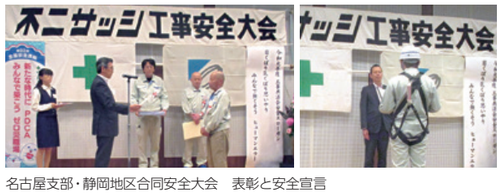
優秀技能表彰 企業の部	優秀技能表彰 個人の部	永年勤続表彰
28社	25名	5年・10年 20年・30年・40年

関東4支部安全大会

第53回名古屋支部・静岡地区合同安全大会

2019年度は総勢108名が参加して工事安全大会を開催しました。過去不幸にも労働災害に遭われて亡くなられた方々のご冥福を祈り黙祷を捧げた後、安全大会の第1部では不二サッシの役員・幹部、共済会理事長より挨拶をいただき安全意識をさらに深めました。その後、2019年安全衛生実施計画の説明や、外部講師による「周りから尊敬される人材」を講話いただきました。

第2部では技能優秀表彰、永年勤続表彰などを行いました。建設業界は日々労働条件が厳しくなる中、社員、共済会員が安全、品質をさらに向上させ無事故・無災害を継続し、全国一の支部になるよう会員全員で団結できたことを確信する素晴らしい安全大会になりました。



名古屋支部・静岡地区合同安全大会　表彰と安全宣言

第三者意見

日本マネジメント総合研究所合同会社
理事長
戸村 智憲様

元・国連の専門官として、国連戦略立案業務専門官リーダー、内部監査業務、SDGs・ESG関連の実践指導・普及啓発などを担当。国連退官後、岡山大学大学院非常勤講師、経営行動科学学会理事、上場IT企業のアドバイザー、コーポレート・ガバナンス・アワード大賞選考委員長などを歴任。

元・国連の専門官としてSDGs・ESG関連の普及啓発・実践指導にあたり、上場各社を指導する企業経営者・官公庁関連の有識者として、実地でのヒアリングおよびウォークスルーにより確認し得る範囲において、CSR全般に関する独立的・客観的な観点から第三者意見を以下の通りご提供いたします。

SDGsと「100年企業」への姿勢

不二サッシ株式会社はSDGsの達成目標年限2030年に創立100周年を迎えることもあり、経営陣・役職員が社会・環境等に配慮した健全に発展し続けるための仕組み・取り組みを進めており、トップメッセージに呼応し積極的にSDGsへの賛同・参画を進めています。

従来からのCSR活動に加え、ステークホルダーに選ばれる企業としてESG等の視点・取り組みに関しても、社内でのエビデンスを基にした議論・検証を重ねつつ、社会的な問題の「SDGsウォッシュ」とならないよう、厳しい質問を投げかけた際にも誠実な報告姿勢・SDGs活動表明が伺えました。

CSR報告書の構成・内容としては、ESGの各項目での分類やエビデンスとなる主要なデータもそつなく整っており、今後の注力分野の環境事業における効果・可視化なども含め、ステークホルダーを尊重し読みやすいよう配慮している様子が見受けられます。

外部からの評価と貴重な取り組み

多様で社会的に役立つ貴重な取り組みを進める中、同社の手掛ける医療機器部材がIMA(国際マグネシウム協会)の2019年度優秀賞を受賞し、革新的な技術の提案と実績をもって環境への貢献や社会に資する経営に努めていること等が、国内外で客観的に高い評価を得ています。

また、省エネ・防犯・子どもの安全(例:「第12回キッズデザイン賞」の受賞)や環境負荷低減などをはじめ、本業・事業そのものが社会に役立ち同社が健全に発展するほど社会にメリットがもたらされるものと見受けられます。

各種災害が多発する日本において、本業として提供している耐震補強窓枠・免震式サッシ枠や、防災倉庫としても高機能なユニットハウスなども含め、様々な取り組みが対外的にも高い評価を得ています(例:「平成30年度 日本アルミニウム協会賞:開発賞など)。

また、本社だけでなく各事業拠点・グループ各社においても、同社はガバナンス強化とともに社会貢献も足並みをそろえて地域に根差した多様な取り組みを展開しており、行政への災害協力、創業90周年に迎える東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会での「都市鉱山」のメダルプロジェクト、特別支援学校のインターンシップ受け入れや「しが障害者施設応援企業認定」など、社会に求められる取り組みを進めています。

さらなる取り組みへの期待

今後のより良い発展と更なる社会貢献に向け、同社が更なる期待を担うものとして、既に取り組み中のサプライチェーン全体での環境マネジメントおよびグリーン調達の強化や、日本企業各社の取り組みが手薄になりがちではあるものの、人権の尊重をより着実にするため人権デューデリジェンスとその評価等に応じた取り組み強化が期待されます。

また、日本企業各社で取り組みが遅れがちな働き方改革の推進・女性の活躍支援・障がい者雇用・ハラスメント対策などの推進を通じ、ダイバーシティ&インクルージョンやディーセントワークの推進においても、継続して着実に取り組みを強化していかれることが期待されます。

第三者意見を受けて

不二サッシ株式会社　環境安全部長　**菅野 禎彦**

不二サッシグループのCSR報告書に第三者意見をいただくのは初めてのことですが、今回戸村様より貴重なご意見を賜り厚く御礼申し上げます。全体を通して高い評価をいただけたことは、当社グループにとって大きな励みとなります。一方でご指摘いただいた、グリーン調達や人権尊重に対する取り組みの強化については、今後の課題として真摯に受け止め、これからの活動に活かすようマネジメントしてまいります。社会から信頼され続けステークホルダーに選ばれる企業グループになることを目指し、より一層サステナビリティ活動を進めるとともに、事業活動を通じて社会の持続的な発展に寄与するよう努力していく所存です。

不二サッシ株式会社

http://www.fujisash.co.jp/

本　　社　〒212-0058　神奈川県川崎市幸区鹿島田1丁目1番2号
新川崎三井ビルディング
TEL 044-520-0034

東京本部　〒141-0031　東京都品川区西五反田4丁目32番1号
TEL 03-6867-0770

内容に関するお問い合わせ先

総合企画部　TEL：03-6867-0777　E-mail：customer@fujisash.net

UD FONT by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。